



# 三事研広報

NO. 5H28. 12. 12 発行

三重県公立小中学校事務研究会

発行者 釜須 雅子

編集責任者 東 路

今年もいよいよ残りわずかとなり、何かと忙しい時期となりました。皆様もお風邪など召されないよう、お気を付けてお過ごしください。

さて今回は、少し遅くなりましたが、10月13日に開催いたしました第53回三重県公立小中学校事務研究大会の報告をいたします。

## 第53回 三重県公立小中学校事務研究大会

10月13日（木）、三重県総合文化センターにおいて、「子どもの豊かな育ちを実現する学校事務」をテーマに、第53回三重県公立小中学校事務研究大会が行われました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



### 講演

- 演題 学校・園と周辺住民とのトラブルをどう考えるか  
～「子どもの声は騒音かもしれない」という前提で始める良好な関係づくり～
- 講師 大阪大学大学院・人間科学研究科教授 小野田 正利 さん



立場が変われば、一つのことが善にも悪にもなりうる…といった視点から、地域コミュニティづくりの重要性、チーム学校の一員としての事務職員の在り方についてお話ししていただきました。クレーム対応の具体例を通して、地域住民や保護者との良好な関係づくりについて考えるよい機会となりました。

### <参加者の声>

日頃からの地域との関係性が大切、重要であると再認識しました。

問題解決に向けての取り組み方から学ぶことが多くありました。

クレーム解決と課題解決は似ているのかもしれませんが、話し合う姿勢を大切にしたいと思いました。

クレームの窓口となる事も多いので、お話ししていただいたことを参考に、今後の対応を心がけたいと思いました。

## 支部発表

- 研究テーマ 「子どもの育ちを支援する学校事務を目指して」  
～経営参画する力を身につけるための研修～
- 担当支部 尾鷲支部



「子どもと教員が生き生きしている！」こうした学びやすく働きやすい学校・職場環境づくりをめざした「退職・介護・児童生徒福祉・財務・組織マネジメント」の5部会での研修内容について研究発表がありました。

退職相談会や介護説明会を教職員向けに開催するなど、学校事務職員が主体となって研修で学んだことを教職員に発信する取組は、新鮮なものでした。経営参画に向けた力を身につける為の実践的な研修から学ぶことが多くありました。

### <参加者の声>

自分達の日々の実践を見つめ直す良い機会となりました。相手の目線に立って還元していくという事が印象に残りました。

学校が抱える課題が複雑化する中で、多忙な教員に代わって事務職員に何ができるか考えさせられる機会となりました。

実践的で企画力・マネジメント力の向上に役立つ内容でした。

全員参加型の研修で、様々な分野の事について取組まれており、事務職員の皆さんのモチベーション向上にもつながっているように感じました。

## 支部紹介 伊勢



伊勢神宮のおひざもと伊勢支部です。

少子化による児童生徒減少の影響もあり、伊勢市にも今後「学校統合」の波が押し寄せます。

平成29年度には、小学校1校、中学校1校が統合により閉校。現在建設中の「伊勢宮川中学校」は4月の開校に向けて急ピッチで工事が進められています。そして、平成30年度の東海大会発表にむけ、ただ今伊勢支部事務職員一丸となって取り組んでいます。

また、平成29年4月21日から5月14日までサンアリーナにて、「お伊勢さん菓子博2017」も開催されますので「みなさんきて、みて、食べるかし。」(いせわんこ)

